

(本発表のお問い合わせ先)
障がい福祉課
広報資料取扱主任: 早崎 周
電話 839-2333

【市長定例記者会見】「たかまつあんしん楽楽ボード」、「たかまつあんしんバンダナ」を作成し、指定避難所に配置します。

1 概要

本市では、この度、災害時等に各地域のコミュニティセンターや学校等に開設する指定避難所での新たなコミュニケーションツールとして、香川大学や関係団体の協力を得ながら、「たかまつあんしん楽楽ボード」と「たかまつあんしんバンダナ」を作成しております。

これらは、いずれも平成31年3月制定の「高松市手話言語及び障害のある人のコミュニケーション手段に関する条例」に基づく施策の一環として作成しているもので、指定避難所での円滑な意思疎通に寄与するものと考えております。

なお、今月中には、本市の指定避難所158か所に配置する予定にしているものです。

2 「たかまつあんしん楽楽ボード」

(高松市避難所用コミュニケーション支援ボード)

※ オリジナルの避難所用ボード作成は、県内初

- ・対象: 言語(日本語)によるコミュニケーションが難しい人(発達障がい者、聴覚障がい者、難聴者、外国人(英語、中国語、ベトナム語を併記)など)
- ・構成、使い方: A4判7枚(14ページ建て)、表紙の次の「用件」のページを起点に、指差しされた項目に応じて、「体調・けが」や「持病」、「食事」など、困り事、伝えたいことなどを意思表示できるよう構成。「使い方動画」を作成しており、今後、職員研修を予定。

※ 本市ホームページからも、ダウンロード(ボード)、視聴(使い方動画)可能。

https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kenkou/shogai_shien/anshin_board.html



3 「たかまつあんしんバンダナ」(高松市避難所用バンダナ)

※ 現在作成中(3月中旬納品予定)

- ・対象: 重要な情報が届きにくく、支援から取り残されるおそれのある人、又は、そのような人の支援者(聴覚障がい者、手話通訳者、視覚障がい者、難聴者)など
- ・構成、使い方: 縦横75cmの正方形。首元で結わえ、背中に表示したいメッセージを垂らす形で使用。四隅に「耳が聞こえません」、「手話ができます」、「目が見えません」のメッセージとマークのほか、自由記載欄とヘルプマークを表示し、必要な支援がスムーズに受けられるよう構成。(裏面に続く)



※ 本市ホームページ

https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kenkou/shogai_shien/anshin_bandana.html